

受賞おめでとうございます

第44回茨城県医療功労賞



内田 さくさん  
(内田医院)  
長年にわたる地域医療に貢献した人を顕彰する医療功労賞の表彰式が行われ、地域住民の支えとなる健康増進や疾病予防、治療などに献身的に活動された功績が認められ受賞されました。

平成27年度健康づくり推進事業功労者表彰

知事賞

保健福祉社部長賞

沼田 和教さん  
(沼田歯科医院)  
沼田 健司さん  
(菱川歯科医院)  
(菱川歯科医院)

平成27年度茨城県献血功労者表彰

日本赤十字社茨城県支部長感謝状

沼田 實さん  
(東本町)

平成27年度茨城県市長会自治功労者表彰



深谷 やすお  
保男さん  
(島名)  
二十余年の間、地域と行政とのパイプ役として御尽力され、地域住民の意見集約や農業土木等の円滑な執行に協力された功績が認められ受賞されました。

平成28年度から 軽自動車税の税率(年額)が変わります



問合せ 税務課 市民税グループ ☎23-2115

■原動機付自転車、小型特殊自動車、二輪の軽自動車、二輪の小型自動車【表1】

【表1】

種別		現行税率	平成28年度からの新税率	
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円	
	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円	
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円	
	三輪以上で20cc超50cc以下(ミニカー)	2,500円	3,700円	
小型特殊	農耕作業用	二輪のもの	1,600円	2,000円
		四輪のもの	1,000cc以下	2,400円
	1,000cc超		3,100円	3,900円
	特殊作業用	4,700円	5,900円	
二輪の軽自動車(125cc以上250cc以下)		2,400円	3,600円	
二輪の小型自動車(250cc超)		4,000円	6,000円	

■三輪および四輪の軽自動車【表2】

- ①現行税率 → 平成27年3月31日までに新規登録をした車両
- ②新税率 → 平成27年4月1日以降に新規登録をした車両
- ③重課後税率 → 新規登録してから13年を経過した車両
- ④軽課後税率 → 平成27年4月1日から平成28年3月31日までに新規登録し、かつ各基準を満たす車両(軽課後税率の適用は平成28年度分に限る)
  - (ア) 乗用の場合は平成32年度燃費基準達成車、貨物用の場合は平成27年度燃費基準+15%達成車
  - (イ) 乗用の場合は平成32年度燃費基準+20%達成車、貨物用の場合は平成27年度燃費基準+35%達成車
  - (ウ) 電気自動車、天然ガス軽自動車

【表2】

種別	①現行税率	②新税率	③重課後税率	④軽課後税率			
				(ア)	(イ)	(ウ)	
三輪のもの	3,100円	3,900円	4,600円	3,000円	2,000円	1,000円	
四輪以上のもの	乗用	営業用	5,500円	6,900円	8,200円	5,200円	3,500円
		自家用	7,200円	10,800円	12,900円	8,100円	5,400円
	貨物	営業用	3,000円	3,800円	4,500円	2,900円	1,900円
		自家用	4,000円	5,000円	6,000円	3,800円	2,500円

※新規登録とは、最初の新規検査(新車)のことです。自動車検査証の「初度検査年月」欄で確認できます。  
 ※各燃費基準の達成状況は、自動車検査証の備考欄で確認できます。



## 2 4 新庁舎建設工事の安全祈願祭



市役所新庁舎建設予定地(旧庁舎跡地)にて、小田木市長、田所議長、施工者の株木・日興特定建設工事共同企業体など関係者約70人が出席し、再建工事の安全祈願祭が執り行われました。再建する新庁舎は、鉄筋コンクリート4階建てで、来年夏の完成を目指しています。

小田木市長は、「新庁舎建設については、十分に議論を重ねてきた。復興の要となる事業であり、市民に愛される庁舎となるよう、安全に注意して施工していただきたい。」と挨拶しました。

## 2 10 子供たちがサケの稚魚を放流

花貫川の環境美化に取り組む「花貫川清流の里づくり会」が、秋山小学校とあおぞら保育園の子供たちを招き、サケの稚魚約3万匹を放流しました。同会では、花貫川の清掃やサケの稚魚の放流などを毎年続けています。



今回放流した稚魚は、4年前の東日本大震災が起こる直前に放流し昨年10月に産卵に戻ってきたサケから、採卵・ふ化させ体長4～5センチに成長させました。子供たちは、花貫川でのサケとの再会を願いながら放流しました。

## 1 26 高齢者から児童へ戦争体験を語り継ぐ

終戦から70年が経過し、子供たちへ戦争体験を語り、戦争の怖さと平和への願いを伝えようと、生涯学習活動をする高齢者



写真左から  
花園文照さん、棚谷多美子さん、石川洋一さん

グループ(蓬莱会)の戦争体験者6人により、市内小学校4校でお話会が催されました。

就将館で開催されたこの日は、終戦当時の高萩市の状況や、その時に何をしていたかなどの体験談と共に、子供たちへは「平和と恵まれた環境がうらやましい。今できることをがんばって、良い未来をつくって欲しい。」とメッセージが伝えられました。

## 2 14 まちづくり団体の相互交流を図る アイラブ高萩・まちづくり大会

アイラブ高萩・まちづくり大会が総合福祉センターで開催され、まちづくり活動団体や市民などが参加しました。



活動内容を発表する  
市街地活性化研究会の緑川代表

基調講演では、高萩ブランディングアドバイザーの藤原浩氏より“高萩のブランド強化、その可能性と未来”と題し「伝統や文化の成り立ちの正しい理解が大切。多くの人に関わり、市のことを発見し、深く学び、磨いていくことがブランドにつながる」と話されました。団体発表では、代表3団体(市街地活性化研究会、クラフトフェアin高萩、NPO里山文化ネットワーク)から、それぞれの事業や活動内容が発表されました。

## 2 6 ウエイトリフティング競技講演会 ～2020東京五輪を目指して～

ウエイトリフティング競技で活躍する早稲田大学1年の安嶋千晶選手、柏木麻希選手の講演会が、高浜スポーツ広場で開催されました。



高萩市ウエイトリフティング教室の皆さんと記念撮影する柏木選手(中央左)と安嶋選手(中央右)

国内外の大会で輝かしい成績を残し、2020年東京オリンピック出場を目指している両選手からは、ウエイトリフティングを始めたきっかけや魅力、今後の抱負などが語られ、参加した小中学生や高校生、父兄らは興味深く聞き入っていました。

講演後は、ウエイトリフティング教室や体験に来た子供たちへの指導も行われました。

※平成31年茨城国体のウエイトリフティング競技は、高萩市文化会館で開催されます。